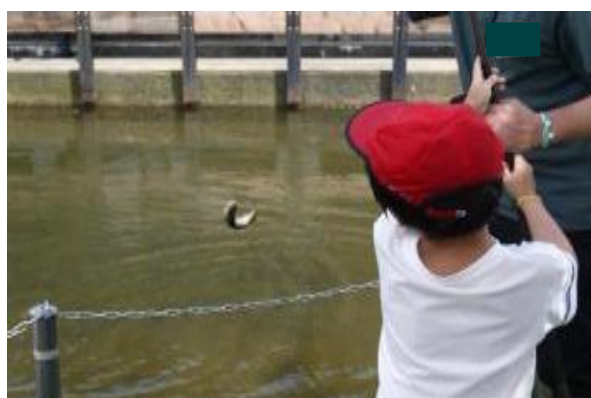


令和5年度

朝日自然塾連絡協議会

■ 期日：令和6年1月19日（金）13:15～15:15

■ 場所：山形市「山形県自治会館」401号室



出羽三山の自然を守る会、小国の自然を守る会、山形県山岳連盟、山形県猟友会、
山形県溪流釣り協議会、山形県内水面漁業協同組合連合会、西川町大井沢区、
西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館、鶴岡市朝日庁舎、
東北森林管理局、朝日庄内森林生態系保全センター（事務局）

朝日自然塾連絡協議会次第

1 開 会

2 あいさつ

3 出席者紹介

4 会議日程等説明

5 協議事項

(1) 令和5年度プログラムの実施結果と評価について

(2) 令和6年度プログラムの策定について

(3) その他

6 閉 会

朝日自然塾連絡協議会出席者名簿

団 体 名	役 職 等	氏 名	備 考
山形県山岳連盟	理事長	井上 邦彦	
出羽三山の自然を守る会	常任理事	長南 厚	
小国の自然を守る会	会 長	三島 亮	基督教独立学園 高等学校
山形県溪流釣り協議会	会 長	鈴木 正	
西川町大井沢区	区 長	志田 龍太郎	
大井沢自然博物館	館 長	秋山 宏幸	
鶴岡市朝日庁舎	主 査	長南 均	
東北森林管理局森林整備部	森林整備部長	唐澤 智	
東北森林管理局森林整備部	企画官（自然再生）	林 孝之	
東北森林管理局庄内森林管理署	森林技術指導官	葛西 譲	
東北森林管理局山形森林管理署	森林技術指導官	大戸 剛	
東北森林管理局置賜森林管理署	森林技術指導官	芦野 進	
朝日庄内森林生態系保全センター	所 長	中嶋 一	
朝日庄内森林生態系保全センター	主任主事	南澤 望	
朝日庄内森林生態系保全センター	主 事	工藤 柊也	

山形県内水面漁業協同組合連合会
山形県猟友会は欠席

令和5年度 朝日自然塾連絡協議会 座席表

自治会館 401号室

		主任主事 南澤望		所長 中嶋一		森林整備部長 唐澤智		企画官 林孝之			
		朝日庄内森林生態系保全センター				東北森林管理局					
井上邦彦 ×		山形県山岳連盟	レコーダー						西川町大井沢区	志田龍太郎 ×	
長南厚 ×		出羽三山の自然を守る会							山形県溪流釣り協議会	鈴木正 ×	
三島亮 ×		小国の自然を守る会							鶴岡市朝日庁舎	長南均 ×	
× ×		空き机							大井沢自然博物館	秋山宏幸 ×	
		庄内森林管理署		山形森林管理署		置賜森林管理署		朝日庄内森林生態系保全センター			
		森林技術指導官 葛西譲		森林技術指導官 大戸剛		森林技術指導官 芦野進		主事 工藤柊也			

目 次

1. 令和5年度朝日自然塾プログラムの実施結果について	1
(1) 募集方法	
(2) 令和5年度の取組み状況	
① 実施したプログラム	
第1回「初夏の大井沢で自然体験！」	
第2回「みんなで歩こうタキタロウへの道」	
第3回「プロが教えるイワナ釣り」	
第4回「森に入って森の営みを探そう」	
② 今後開催予定のプログラム	
第5回「冬の大井沢で自然体験！」	
③ 新聞等掲載記事	
2. 令和6年度朝日自然塾プログラムの策定について	6
(1) 令和6年度朝日自然塾実施にあたっての基本的な考え方	
(2) 令和6年度朝日自然塾プログラム案	
＜参考＞	
○参考1「令和5年度朝日自然塾プログラム」.....	8
○参考2「令和6年度朝日自然塾プログラム(案)」.....	9
○参考3「初夏の大井沢で自然体験」.....	10
○参考4「初夏の大井沢で自然体験」アンケート結果.....	11
○参考5「みんなで歩こうタキタロウへの道～六十里越街道編～」.....	13
○参考6「みんなで歩こうタキタロウへの道～六十里越街道編～」感想文(抜粋).....	15
○参考7「プロが教えるイワナ釣り」.....	22
○参考8「プロが教えるイワナ釣り」アンケート結果.....	23
○参考9「森に入って森の営みを探そう」.....	25
○参考10「森に入って森の営みを探そう」アンケート(抜粋).....	26
○参考11「冬の大井沢で自然体験！」.....	34
○参考12「冬の大井沢で自然体験！」アンケート結果(抜粋).....	36
○参考13イベント実施時の安全確認対策チェックリスト.....	38
○参考14朝日自然塾 実施プログラム 参加者集計表【H18～R5(現時点)】.....	40

1 令和5年度朝日自然塾プログラムの実施結果について

(1) 募集方法

- ・ 年間計画
- ・ 開催告知（各プログラム毎に作成）
- ・ 朝日庄内森林生態系保全センターホームページに開催告知

(2) 令和5年度の実施状況

① 実施したプログラム

第1回 「初夏の大井沢で自然体験！」

開催日	令和5年7月8日（土）実施
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	2組4名
講師・スタッフ	講師 秋山宏幸氏、大泉正宏氏 朝日センター3名 合計5名
取組状況	鶴岡市市報に開催告知を掲載、各教育委員会等にチラシを配布、西川町自然と匠の伝承館フェイスブック及び朝日庄内森林生態系保全センターHPに参加者募集を掲載しました。 事前に講師とセンター職員で、打合せと事前踏査を行いました。
備考	

第2回 「みんなで歩こうタキタロウへの道」

開催日	令和5年7月12日（水）実施
開催場所等	鶴岡市 セツ滝～湯殿山鳥居
参加者	鶴岡市立あさひ小学校5年生児童18名、教職員等9名（先生3名）
講師・スタッフ	（出羽三山を守る会） （山形県山岳連盟） 長南 厚 難波賢一 庄内森林管理署2名 加藤史子 渡部美智 朝日センター3名 高橋宣裕 加藤美智 合計11名
取組状況	あさひ小学校では、本大鳥池登山と大鳥地区の森林生態系保護地域内で行う森林整備活動とを併せて「大鳥自然教室」と称し、森林環境教育として一体のものと捉え、1泊2日の日程で毎年実施しています。 令和5年度については、泡滝～大鳥池に通じる歩道の崩落、風倒木により危険なことから、六十里越街道へコース変更を行い実施しました。
備考	あさひ小学校単独実施

第3回 「プロが教えるイワナ釣り」

開催日	令和5年7月22日（土）実施		
開催場所	鶴岡市大鳥 東大鳥川・タキタロウ館		
参加者	10組22名		
講師・スタッフ	講師 鈴木正（山形県溪流釣り協議会） 長岡博志（山形県溪流釣り協議会） 渡辺和春（山形県溪流釣り協議会） 齋藤篤（山形県溪流釣り協議会）	スタッフ 鶴岡市朝日庁舎 庄内森林管理署 朝日センター	3名 5名 3名 合計15名
取組状況	山形新聞、コミュニティ新聞、鶴岡市市報に開催告知を掲載、各教育委員会等にチラシを配布及び朝日庄内森林生態系保全センターHPに参加者募集を掲載しました。 事前に講師とセンター職員で、タキタロウ館・東大鳥川において打ち合わせと事前踏査を行いました。 また、コロナ感染症の5類以降後、夏休みの行事等で釣りを企画する動きが出てきているため募集期間を長めに取る必要があります。燃料代等も高騰していることからその影響を考慮し内容（料金）を見直しながら実施する必要があります。		
備考			

第4回 「森に入って森の営みを探そう」

開催日	令和5年10月16日（月）実施		
開催場所	小国町扇平国有林73林班		
参加者	基督教独立学園生徒4名及び教職員1名		
講師・スタッフ	講師	スタッフ 置賜森林管理署 朝日センター	1名 3名 合計4名
取組状況	今年度は、山形大学農学部准教授菊池俊一先生から北海道知床での森林調査活動についても講義予定でしたが急遽予定が入り中止となりました。 森林の立木調査（測高器（トゥルーパルス）やドローンを使用）や熊樹皮剥ぎ被害対策（リロンテープや成長物用バンドの立木に巻付け）の現場体験学習を実施しました。 次年度以降も、内容を見直しながら継続していきたいと考えています。		
備考	基督教独立学園単独		

② 今後開催予定のプログラム

第5回 「冬の大井沢で自然体験！」

開催日	令和6年3月2日（土）開催予定
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	募集人員20名予定
講師・スタッフ	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 西川町大井沢区 西川町役場 朝日庄内森林生態系保全センター
取組状況	－
チラシ 配布先 （予定）	○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校へ配布 ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者（リピーター）
備考	令和4年度は9名の参加で実施。

2 令和6年度朝日自然塾プログラムの策定について

(1) 令和6年度朝日自然塾実施にあたっての基本的な考え方

朝日自然塾は、平成18年度から朝日自然塾連絡協議会構成団体の協力を得ながら、朝日山地森林生態系保護地域の豊かな動植物の生息する環境を、後世に保全・継承するための人材育成の取り組みの一つとして実施しています。

国民のニーズを踏まえ、関係機関と連携し、効果的な取り組みを進めてまいりたいと考えております。

① プログラムについて

今年度は予定していたスケジュールについては3月開催予定のプログラムを除き、実施しました。実施できたものも、開催時期の変更、現地集合への変更等、小さくない影響がありました。そのような中でも、実施することのできたプログラムは多くの応募をいただき、概ね高い評価をいただいたところです。

6年度の実施については、各プログラムの実施時期、開催場所、内容等について検討を願います。

なお、基本的な感染症への対応として、各首長の指示に従い、特に鶴岡市、西川町の施設を使用する際には、施設管理者の指示により使用の可否を判断することになり、使用できない場合は、全時間野外で活動することは困難であることから、社会の趨勢上中止せざるを得ないと考えております。

※最小催行人数に達しなかった場合は、イベントを中止することがあります。

※著しい荒天時は中止とする場合があります。実施の際にも天候等によりプログラムを変更する場合があります。

② 講師・スタッフについて

各構成団体と東北森林管理局が協力し、各プログラムの実施に必要な講師・スタッフの確保に努めます。

③ 安全対策等について

参加者（あさひ小学校及び基督教独立学園を除く）は事前に傷害保険に加入し、全プログラムにおいて各構成団体の協力を得ながら、今後も東北森林管理局が講師・スタッフを含め、安全対策を講じます（巡視員である講師・スタッフは東北森林管理局によりボランティア保険に加入）。

また、「イベント実施時の安全対策チェックリスト2-1、2-2」を、事前打ち合わせや事前踏査時に活用し、安全対策に取り組んでまいります。

イベント当日は、タイムスケジュール・配置表及びパンフレット等により、各自の役割分担、雨天・荒天時の対応について、講師・スタッフの意思統一を図ります。

なお、新型コロナウイルス感染症（5類）の状況により、各プログラムの中止、延期及び縮小等、臨機応変の対応をしてまいります。

④ 参加募集について

来年度の実施に当たっては、今年度と同じ時期に開催したいと考えております。また、引き続き、各学校を通じたチラシ等の配布、特にリピーターへの通知などを実施し、積極的な情報発信に努めてまいります。

⑤ パンフレットについて

当日配布のパンフレット（みんなで歩こう六十里超えを除く）については、各プログラムの実施内容に即したものとすよう、必要な修正を行います。

自然や森林に対する興味、関心が高まるよう改訂を加えていきます。

今後も「朝日自然塾」の実施にあたっては、これまで同様各構成団体等をはじめとした、地域の皆様のご理解ご協力を得ながら取り組んでまいります。

(2) 令和6年度朝日自然塾プログラム案

	タイトル	対象者	プログラム及び内容等	実施時期	実施場所等	募集人員数・参加者数	備考 検討事項
1	「初夏の大井沢で自然体験！」	募集	・トンボや水棲昆虫の観察 ・昆虫博士の珍しい標本 ・大井沢自然博物館見学 ・昆虫観察のルールとマナー	7月上旬頃	・西川町大井沢カッチャバ温泉 ・西川町自然と匠の伝承館/大井沢自然博物館	親子等20名	・少人数の場合(20名未満)傷害保険料が値上がりした場合、人数によっては参加費に差額がある旨、告知する必要がある(他プログラムも同様) ・最小催行人数に達しなかった場合は、イベントを中止することを検討する。
2	「みんなであそぼう六十里超えの道」	あそび小学校 児童	・森の動植物と朝日山地を学ぼう ・水質測定のルールとマナー ・あそぶ山の山を守るルールとマナー	7月4日(木)	・鶴岡市七ツ滝駐車場～湯殿山大鳥居	5年生児童数(18名)	・5年度は、雪解けで歩道が崩落したことから六十里越街道へコース変更して実施した。 ・6年度は、滝道コースの歩道等の状況により六十里越街道も検討する。
3	「フロが教えるイワナ釣り」	募集	・みんなに教えたい岩魚の話 ・清流釣りのルールとマナー ・川釣り入門・体験 ・イワナの塩焼き体験	7月下旬頃	・鶴岡市大鳥東大鳥川及びタキタワグ館	親子等25名	5年度は、鶴岡市朝日庁舎よりバスの提供を受けて実施した。 6年度については、同様の対応で計画する。
4	「森に入って森の恵みを味わおう」	基督教徳立学園 高等学校 生徒	・針葉樹及び広葉樹の立木調査をします ・森林に生育する植物を知ります ・森林樹雲についても学びます(熊剥さ)	10月上旬 (学校と協議して決定)	・小国町置賜森林管理署管内 願平国有林73林班	希望生徒数	場所を、5年度と同じく願平国有林にて実施する。
5	「冬の大井沢で自然体験！」	募集	・かんじきの履き方と歩き方 ・大井沢にはどんな動物がいるの ・冬芽の観察 ・昆虫のおもしろい話 ・ぞいほべい ・めいのうアクセサリーづくり体験	3月上旬	・西川町自然と匠の伝承館/大井沢自然博物館 ・カッチャバ温泉周辺の森林	親子等20名	・5年度と同様で実施予定。 ・最小催行人数に達しなかった場合は、イベントを中止することを検討する。

令和5年度

朝日自然塾 プログラム

朝日自然塾連絡協議会

1 初夏の大井沢で自然体験！

- ◇日時：令和5年7月8日（土）
- ◇場所：西川町大井沢
- ◇募集人員：小中学生の親子等20人
- ◇参加費：700円（入館料・保険料等）
- ◇内容

- ・カッチャバ温原での自然観察
- ・昆虫博士の珍しい標本
- ・大井沢自然博物館見学
- ・自然観察のルールとマナー



2 みんなでおこっ

タキタロウへの道

- ◇日時：令和5年7月12日（水）
- ◇場所：鶴岡市大鳥池等
- ◇参加者：あさひ小学校5年生
- ◇内容

- ・大鳥池タキタロウ伝説とは
- ・森の動植物と朝日山地を学ぼう
- ・水資源の大切さを学ぼう
- ・ふるさとの山を守るルールとマナー



3 フロが教えるイワナ釣り ～東大鳥川でイワナ釣りに挑戦～

- ◇日時：令和5年7月22日（土）
- ◇場所：鶴岡市大鳥 東大鳥川
- ◇募集人員：小中学生の親子等25人
- ◇参加費：1,000円（入館料・保険料等）
- ◇内容

- ・みんなに教えたい岩魚の話
- ・溪流釣りのルールとマナー
- ・川釣り入門・体験
- ・イワナの塩焼き体験



4 森に入って

森の営みを探そう



- ◇日時：令和5年10月16日（月）
- ◇場所：小国町扇平国有林
- ◇参加者：基督教独立学園高等学校
- ◇内容

- ◎森林の営みを調査します。
- ・針葉樹及び広葉樹の立木調査
- ・森林に生育する植物を知ります
- ・森林被害についても学びます

5 冬の大井沢で自然体験！

- ◇日時：令和6年3月2日（土）
- ◇場所：西川町大井沢
- ◇募集人員：小中学生の親子等20人
- ◇参加費：2,000円（入館料・めのうアクセサリーづくり体験料等）
- ◇内容

- ・かんじきの履き方と歩き方
- ・大井沢にはどんな動物がいるの
- ・冬芽の観察
- ・昆虫のおもしろい話
- ・そりすべり
- ・めのうアクセサリーづくり体験



朝日自然塾連絡協議会

出羽三山の自然を守る会 山形県溪流釣り協議会 山形県山岳連盟
西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 鶴岡市朝日庁舎 西川町大井沢区
山形県内水面漁業協同組合連合会 山形県猟友会 小国の自然を守る会
東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター（事務局）

お問い合わせ先

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合3
○TEL:0235-58-1730 ○FAX:0235-58-1731

申込み(E-mail)



※ プログラム1、3、5の参加者を募集します

申込みはプログラム名・住所・氏名・連絡先等を朝日庄内森林生態系保全センターあてにてお知らせ下さい。

日時・参加費等は変更となることがあります。その際は随時、当センターホームページにてお知らせいたします。

参考1

令和6年度

朝日自然塾プログラム

朝日自然塾連絡協議会

1 初夏の大井沢自然体験！



- ◇日時：令和6年7月6日(土)
- ◇場所：西川町大井沢
- ◇募集人員：小中学生の親子等20人
- ◇参加費：700円(入館料・保険料等)
- ◇内容
 - ・カッチャバ温泉での自然観察
 - ・昆虫博士の珍しい標本
 - ・大井沢自然博物館見学
 - ・自然観察のルールとマナー

2 みんなで歩こう

六十里越えの道



- ◇日時：令和6年7月4日(木)
- ◇場所：鶴岡市大鳥池等
- ◇参加者：あさひ小学校5年生
- ◇内容
 - ・出羽の古道「六十里越街道」とは
 - ・森の動植物と朝日山地を学ぼう
 - ・水資源の大切さを学ぼう
 - ・ふるさととの山を守るルールとマナー

3 フロが教えるイワナ釣り ～東大鳥川でイワナ釣り挑戦～



- ◇日時：令和6年7月27日(土)
- ◇場所：鶴岡市大鳥 東大鳥川
- ◇募集人員：小中学生の親子等25人
- ◇参加費：900円(入館料・保険料等)
- ◇内容
 - ・みんなに教えない岩魚の話
 - ・溪流釣りのルールとマナー
 - ・川釣り入門・体験
 - ・イワナの塩焼き体験

4 森に入って

森の営みを探そう



- ◇日時：令和6年10月上旬(予定)
- ◇場所：小国町針生平
- ◇参加者：基督教独立学園高等学校
- ◇内容
 - ◎森林の営みを調査します。
 - ・針葉樹及び広葉樹の立木調査
 - ・森林に生育する植物を知ります
 - ・森林被害についても学びます

5 冬の大井沢で自然体験！



- ◇日時：令和7年3月1日(土)
- ◇場所：西川町大井沢
- ◇募集人員：小中学生の親子等20人
- ◇参加費：2,000円(入館料・めうのうアークセサリーづくり体験料等)
- ◇内容
 - ・かんじきの履き方と歩き方
 - ・大井沢にはどんな動物がいるの
 - ・冬芽の観察
 - ・そりすべり
 - ・めうのうアークセサリーづくり体験
 - 又は月山和紙漉き体験

朝日自然塾連絡協議会

出羽三山の自然を守る会 山形県溪流釣り協議会 山形県山岳連盟
西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 鶴岡市朝日庁舎 西川町大井沢区
山形県内水面漁業協同組合連合会 山形県猟友会 小国の自然を守る会
東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

お問い合わせ先

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合3
○ TEL: 0235-58-1730 ○ FAX: 0235-58-1731
○ E-mail: t_syounai_fmaff.go.jp

申し込み(E-mail)



※ プログラム1, 3, 5の参加者を募集します。

申込みはプログラム名・住所・氏名・連絡先等を朝日庄内森林生態系保全センターあてにお知らせ下さい。
日時・参加費等は変更となる場合があります。その際は随時、当センターホームページにてお知らせいたします。

初夏の大井沢で自然体験！ ～大井沢で1日昆虫博士～

令和5年度朝日自然塾（※）が7月8日（土）に、西川町大井沢区にて、西川町大井沢支所、西川町自然と匠の伝承館・自然博物館の協力を得て開催されました。当日は大粒の雨の降る、あいにくの天気でしたが、2組4名の参加をいただきました。

まず講師による、標本観察と昆虫のおもしろいお話を聴きました。さらに、標本だけでなく講師の方が飼育している生きた昆虫も登場。これにはお子さんも大喜びでした。



ヒキガエル観察



クワガタムシの標本

午後は自然博物館見学をしました。里山の自然にはどのような楽しさがあるのか知ってもらえたらうれしいです。参加いただいた皆さん、雨の中、ほんとうにありがとうございました！



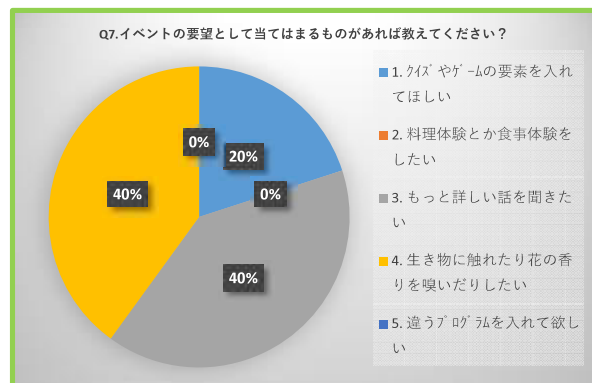
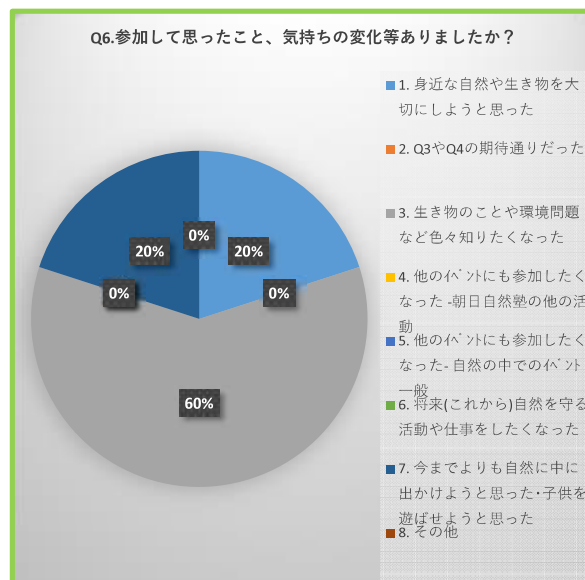
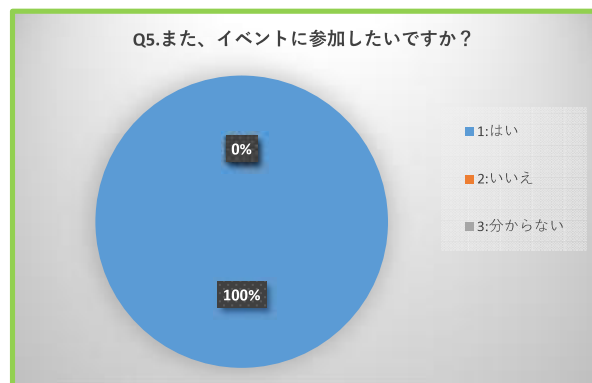
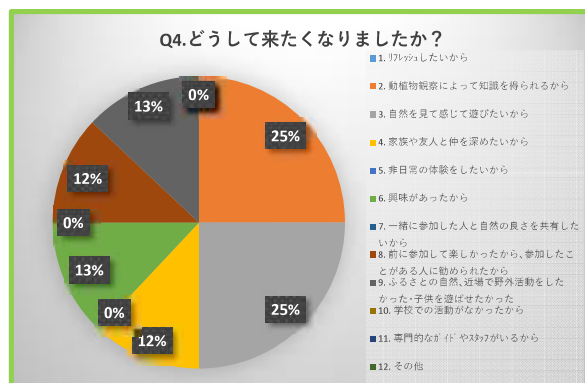
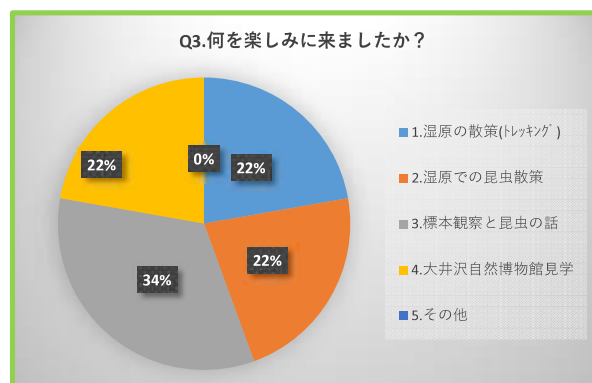
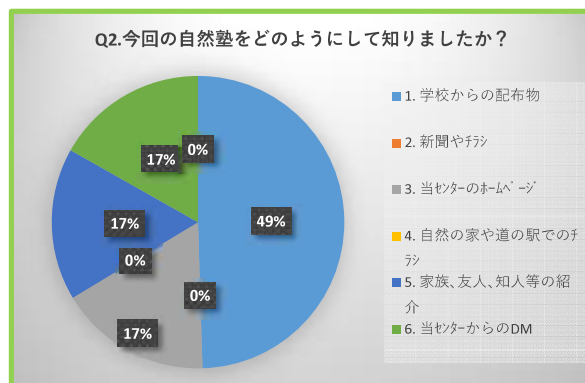
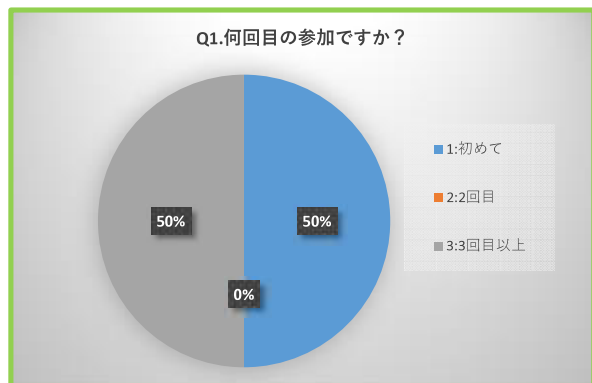
庄内金魚とメダカの観察



（※）朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

令和5年度 初夏の大井沢で自然体験！



アンケートの分析等と考察【初夏の大井沢で自然体験！】

1. 参加者について

- ・5年度の参加者は、半々で初めての参加と3回目以上の参加者です。
- ・参加者の大人及び子供の比率は、大人50%、子供50%でした。

2. 募集方法について

- ・5年度参加者の約5割が、学校からの配布物により参加している。約2割が家族等の紹介、当センターからのDMで参加したと回答している。
- ・学校での配布物を見ての参加者が約5割と多い傾向にあります。家族等の紹介及び当センターからのDMでの参加者も約5割を占める傾向にあります。

3. 参加人員について

- ・令和6年度も、コロナ禍の状況に左右される可能性が高いため、参加人員等の規模は令和5年度と同様の規模で行う。

4. アンケート結果

- ・Q3「何を楽しみにして来ましたか？(複数回答)」では、1位(33%)標本観察と昆虫の話・2位(22%)湿原での昆虫散策・3位(22%)湿原の散策(トレッキング)
- ・Q4「どうして来たくまりましたか？(複数回答)」では、1位(25%)動植物観察によって知識を得られるから・2位(25%)自然を見て感じて遊びたいから・3位(14%)興味があったから
- ・Q5「また、イベントに参加したいですか？」では、1位(100%)はい、2位(0%)いいえ、3位(0%)わからない
- ・Q6「参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？(複数回答)」では、1位(60%)生き物のことや環境問題など色々知りたくなった・2位(20%)今までよりも自然の中に出かけようと思った・子供を遊ばせようと思った・3位(20%)身近な自然や」生き物を大切にしようと思った
- ・Q7「イベントへの要望として当てはまるものがあれば教えてください(複数回答)」では、1位(40%)もっと詳しい話をききたい・2位(40%)生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい・3位(20%)クイズやゲームの要素を入れてほしい

5. 次年度に向けて

- ・学校からの配布物による申込みは、約5割と高いため引き続き内陸部の学校に配布するとともに、地元新聞やコミュニティ新聞に投げ込みを行い周知を行う。
- ・親の方が、子供に自然体験させたいと思い参加している傾向があるのではないかと、このことから、当センターからのDMも有効性が高いと思われる。
- ・子供の関心を高めるために、生き物へ触れる時間を増やす事も検討する必要がある。
- ・参加者が少ない場合は中止を含め検討する。(最低人数を設定する。)

みんなで歩こうタキタロウへの道

～六十里越街道編～

令和5年度朝日自然塾(※1)は鶴岡市あさひ小学校の大鳥自然教室の一環として、例年泡滝ダムから大鳥池までの登山を実施していますが、倒木や登山道の一部破損により児童が登るには危険なため、昨年度同様六十里越街道(七ツ滝から湯殿山神社鳥居)にコースの変更を行い、スタッフとして出羽三山の自然を守る会、鶴岡山岳会、庄内森林管理署の協力の下登山を実施しました。



龍神ブナ前

当日は雨予報でしたが登山開始時点では晴れていました。登山における注意点を再度確認し、準備体操をしてから出発しました。

登山コース全域が上りで蟻腰坂、細越峠、ザンゲ坂などの難所を通り、湯殿山神社鳥居を目指しました。



雨が降り始める

様々な難所を越えて、国道112号線のスノーシェッド上部を通過し、お昼休憩地点の細越峠を目指します。ラブラブナを超えたあたりから雨が降り始めました。もう少し、頑張れ！



細い橋を慎重に渡る

細越峠に到着し手早くお昼ご飯を食べて、湯殿山神社鳥居を目指してもう一踏ん張りです。

後半は下りが続き、雨の影響もあって、地面はさらに滑りやすくなっているため慎重に進みます。



ザンゲ坂



湯殿山神社鳥居での記念撮影

疲労もピークの中最後の難所ザンゲ坂を登り湯殿山神社鳥居に到着しました。

湯殿山神社鳥居に到着すると雨も降り止み、児童たちの到着をねぎらっているようでした。雨にも負けず登り切った児童たちはとてもたくましくなったように感じました。

この登山を通して自然の厳しさ、自然の楽しさをたくさん感じ取ってくれたと思います。

(※1) 朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

朝日自然塾のみなさんへ



ありがとうございました！！

あさひ小学校 5年生より



このあいだはありがとうございました。
朝日自然じゅくのみなさんのあ
いかけでゆどの山神社までつきました。
と申けらしいところもあったけど朝
日自然じゅくのみなさんと登って楽し
かったです。ゴールに着いた時は
本当に気持ちよかったです。
その日の夜に足がいたくな
ったけれど、たっせいかんがあっ
ていい気持ちでした。本当にあ
りがとうございました。



大鳥自然教室の六十里越街道★
を歩いたときに、動植物の名前や道の
名前の由来についてくわしくたくさん
教えていただき、ありがとうございました。
した。

ほくは、^{おツギ}虫義腰坂の名前の由来は、逆
方向の地いきのある場所から見ると登っ
ている人が虫義が腰を曲げてつらそ
うに登っているように見えたからという
由来が心に残りました。本当にありが
とうございました。

これからも体に気をつけて生活し
てください。



朝日自然じゅうくのみなさんと 楽しか
ったことは三つあります

一つ目は大十壺のぼったことです
大十里を歩いてみると虫や木が「いっ
いあつ」ともすづくつ 楽のしかっ
たです二つ目はとても大きい
なめくじでした。大きさは約 6cm くらい
の大きさでとてもゼリクリしました。

三つめはラブラブ なですラブラブなほ
い木の木 と本の木が「なが」ながっていること
でラブラブなという名前がついたという
ことをしれてとてもうれしかったです



六十里をいっしょに歩いた自然じくのみ
あさんたくさん教えていただきありがと
うございます。ぼくは六十里で山をのぼ
るのはとても時間がかかるのだと思い
ました。歩くのはたいへんだ、けれど昔は、
これをおらじで歩いたのかと思いながら
歩きました。でもきれいな花などめずらし
いのがたくさん見れてすごく楽しかった
です。鳥居についた時のた、せいかん
はものすごく良かったです。ぼくに登山のたの
しさを教えてくれたみあさん、いっしょに
六十里を歩いてくれてありがとうございました。



六十里越街道ではたくさんの自然を教
えてくださったおかげで色々な自然を学ぶこ
とができました。

私は木にはたくさんの形があるのを知りました。
ラブラブナは手をつないだブナの木などが学ばま
した。木をほて文字が書いてあるのがび
っくりしました。

雨の中でしたけど班のみんなを支えてく
れたおかげで湯殿山神社まで行くこと
ができました。

たくさんの思い出と学びができました。
ありがとうございました。



自然教室でいっしょにあるいてくださり
ありがとうございます。

つらいときもくるしい時もはげまして
くださりありがとうございます。

道のだいたいが雨だったけどさいごま
であるけてよかったです。

いろいろな虫やいき物、木、植物をおし
えてくださってありがとうございます。
またいっしょにあるきたいです。

さいごのとおりまでいっしょに
あるいてくださりありがとうございます。

フロが教えるイワナ釣り！ ～東大鳥川でイワナ釣り体験～

令和5年度朝日自然塾（※）にて7月22日（土）鶴岡市大鳥地区の、東大鳥川とタキタロウ館にて、山形県溪流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎及び庄内森林管理署の協力を得て開催されました。

当日は、梅雨明けの暑い中、10組22名が元気いっぱいに参加してくださいました。



参加者は低学年、高学年の4班に分かれ、講師の指導の下、まずは東大鳥川にて溪流釣りにチャレンジしました。

溪流の次は、釣り堀でイワナやニジマス釣りに挑戦。思った以上の強い竿の引きに、あちらこちらで大きな歓声が上がりました。

釣った魚は、講師の指導を受けると、何匹も次々とさばく子も居ました。自分達でさばくことで、食と命の厳粛な関係の一端を知ってもらいました。



魚のさばき方体験

フライフィッシング体験

毛針作り体験

さらに、午後にはフライフィッシングにチャレンジ、毛針作りやイワナと森林の関係などの話を聴き、元気いっぱいに一日を楽しみました。皆さん、暑い中、参加ありがとうございました！

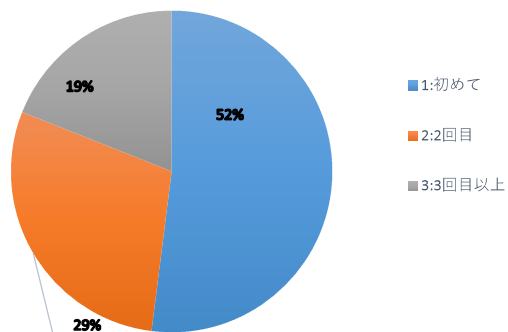


（※）朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

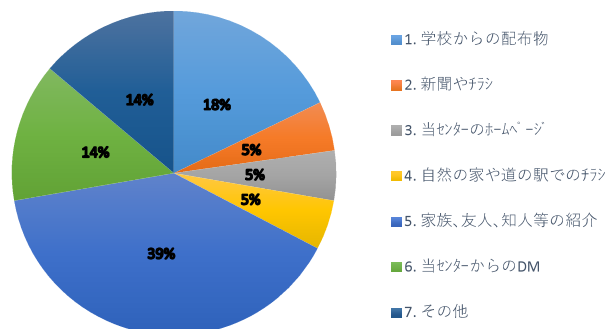
東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

令和5年度 フロが教えるイワナ釣り（アンケート結果）

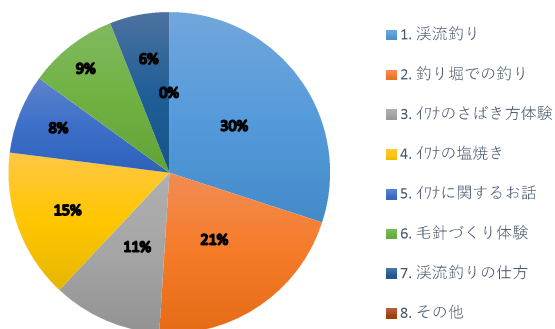
Q1.何回目の参加ですか？



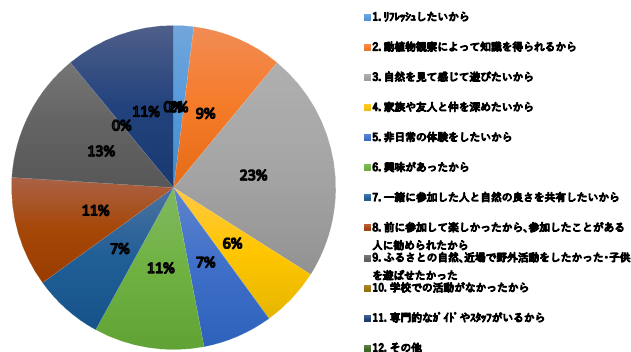
Q2.今回の自然塾をどのようにして知りましたか？



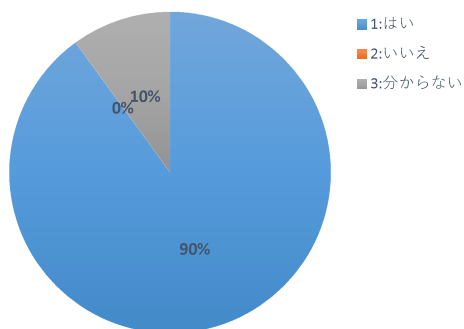
Q3.何を楽しみにしてきましたか？



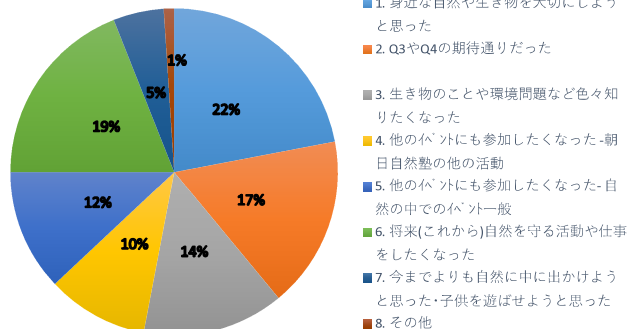
Q4.どうして来たりましたか？（複数回答）



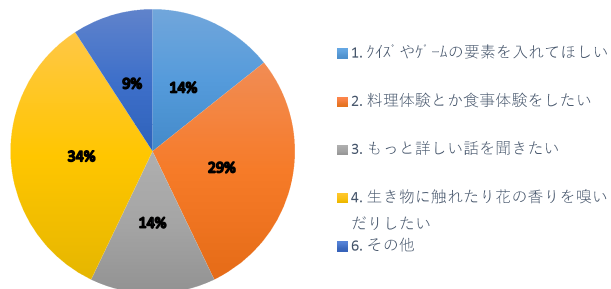
Q5.また、イベントに参加したいですか？



Q6.参加して思ったこと、気持ちの変化等がありましたか？



Q7.イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください



アンケートの分析等と考察【プロが教えるイワナ釣り！】

1. 参加者について

- ・5年度の参加者は、約5割が初めての参加でした。2回目が約3割、3回目以降が約2割の者もあり、リピーターも存在します。

2. 募集方法について

- ・5年度参加者の約2割が、学校からの配布物により参加、友人、知人の紹介が4割となった。また5年度は、コロナによる行動制限が無く、子供会の行事も実施された影響からか、鶴岡市内の参加者が少なかった。
- ・6年度は、内陸方面の小学校へ募集の周知を強化し、引き続き、新聞等や市報での開催告知、DM及びHPへの掲載等の取り組みを行う。

3. 参加人員について

- ・令和6年度も、参加人員等の規模は令和5年度(25名程度)と同様の規模で行う。

4. アンケート結果

- ・Q3「何を楽しみにして来ましたか？(複数回答)」では、1位(30%)溪流釣り・2位(21%)釣り堀での釣り・3位(15%)イワナの塩焼きで4年度と同じであるが、大人は溪流釣り、子供は釣り堀が楽しいと感じている。
- ・Q4「どうして来たりましたか？(複数回答)」では、1位(23%)自然を見て感じてあそびたいから・2位(13%)前に参加したから、ふるさとの自然を子供に体験させたいの回答が多かった。
- ・Q5「また、イベントに参加したいですか？」では、回答者の約9割が、また参加したいと回答している。残り1割はわからないと回答。
- ・Q6「参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？(複数回答)」では、1位(22%)身近な自然や生き物を大切にしようと思った・2位(19%)将来(これから)自然を守る活動や仕事をしたくなった3位(17%)Q3やQ4の期待通りだったの回答が多かった。
- ・Q7「イベントへの要望として当てはまるものがあれば教えてください(複数回答)」では、1位(34%)生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい・2位(29%)料理体験とか食事体験をしたい・3位(15%)クイズやゲームの要素を入れてほしいやもっと詳しい話を聞きたいの回答が多かった。

5. 次年度に向けて

- ・過去の傾向では、学校からの配布物により申込みをしている傾向があることから、今後も、引き続き配布を行うとともに、内陸方面の小学校への配布を強化する。
- ・大人は溪流釣りへの関心が高いが、子供は釣り堀で自分で釣った魚を料理してみたいと考えている傾向がある。
- ・集合時間等の見直し。(令和5年度は30分遅く9時スタートとした。)

森に入って森の営みを探そう

令和5年度第4回朝日自然塾（※）が、10月16日（月）小国町扇平国有林にて、基督教独立学園の生徒を対象に、置賜森林管理署の協力を得て開催されました。

令和元年度に、この企画は始まりましたが、2年度及び3年度はコロナ禍の中で中止し昨年度、今年度と3回目の実施となりました。

当日は、天気も良く、生徒の参加は4名でしたが、国有林の現場を活用して植生について学んだ後に、立木の樹高、太さの測定、「おみとおし」を利用した森林の蓄積把握について実際の作業を行いました。



樹高測定

講義の最後には、置賜地域における熊剥ぎの現状を知って貰うため、熊剥ぎ防止のテープを巻く作業を実際に行い日程が終了しました。

生徒達は、森林について、非常に強い関心を持ち積極的に質問をしていました。

参加した生徒の皆様には、今後も自然に対して強い関心を持っていただけるように願うとともに、今後ともこの取り組みを継続して行きたいと思えます。



「おみとおし」実践中



「熊剥ぎテープ巻き」実践中

（※）朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

朝日自然塾アンケート

プログラム名「森に入って 森の営みを探そう」

以下の質問について、○印または記述でお答え下さい。

Q1：以下の言葉から思いつく別の言葉を何個か書いてください。

例：きのこ→

オノオノして、思ふ、食べると美味しい

おいしい！ スープ 多種多様。

森林→

空気がきれいになる
たくさんの生命が育まれている
広い 大きい 未知 きれい

林業→

森林を整える 森を活用する
人と森をつなぐ 山を削る

Q2：森林での伐採している所を見たことがありますか？（1つに○）

- ①見たことがある
- ②見た ☒ がない

Q3：質問2で「①見たことがある」に○をつけた人へ。どんな時に見ましたか？（一番あてはまるもの1つに○）

- ①家族の行事について行った時に
- ②学校の行事（見学など）で出かけた時に
- ③学校以外の行事で出かけた時に
- ④たまたま森林に遊びに行った時に
- ⑤その他（具体的に書いてください→）

Q4：森林・林業の話を、どこかで聞いたり教わったりしましたか？（あてはまるものすべてに○）

- ①家族や親せきの人から聞いた
- ②学校の社会の授業で先生から聞いた

③学校の行事で林業の仕事をしている人から聞いた

④いままでに森林・林業の話は聞いたことがない

⑤その他（具体的に書いてください→

Q 5：森林から伐採された木は、どのようなものに利用されていると思いますか？思いつくものを、いくつでも書かいてください。

建ちく
まき

Q 5：森林には、色々な役割がありますが、以下の森林の役割を、それぞれどれくらい重要だと思いますか？（一番あてはまるところ1つに○）

	大変重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	全く重要ではない
①観光が中心で訪れる場所としての役割	○				
②二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を抑える役割					
③人が利用する木材を生産する役割					
④動物などで人にやぶらばきを与える役割					
⑤水を蓄えたり、洪水を防いだりする役割					
⑥土壌が腐れるのを防ぎ土を育てる役割					

朝日自然塾アンケート

プログラム名「森に入って 森の営みを探そう」

以下の質問について、○印または記述でお答え下さい。

Q1：以下の言葉から思いつく別の言葉を何個か書いてください。

例：きのこ→

メキシコでも、日本、食べると美味しい

森林→

森林学（学問の分野）、美しい、自然、心地良い

林業→

筋力が必要そう、森が好きなのが励みそう
危険が伴う

Q2：森林での伐採している所を見たことがありますか？（1つに○）

①見たことがある

②見たことがない（1つ）

Q3：質問2で「①見たことがある」に○をつけた人へ。どんな時に見ましたか？（一番あてはまるもの1つに○）

①家族の仕事について行った時に

②学校の行事（見学など）で出かけた時に

③学校以外の行事で出かけた時に

④たまたま森林に遊びに行った時に

⑤その他（具体的に書いてください→）

Q4：森林・林業の話を、どこかで聞いたり教わったりしましたか？（あてはまるものすべてに○）

①家族や親せきの人から聞いた

②学校の社会の授業で先生から聞いた

とても楽しかったです。貴重な時間でした。

今日はありがとうございました。

③学校の行事で林業の仕事をしている人から聞いた

④いままでに森林・林業の話は聞いたことがない

⑤その他（具体的に書いてください）

Q5：森林から伐採された木は、どのようなものに利用されていると思いますか？思いつくものを、いくつでも書かいてください。

--

Q5：森林には、色々な役割がありますが、以下の森林の役割を、それぞれどれくらい重要だと思いますか？（一番あてはまるところ1つに○）

	大変重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	全く重要ではない
広葉樹が豊かして涼やかな場所としての役割					
河川源流保護を促進し、地味汚濁を防止する役割					
人が利用する水源地を確保する役割					
自然環境がどこにまでも広がる役割					
水を蓄えたり、洪水を減らす役割					
土壌が流失するのを防止する役割					

朝日自然塾アンケート

プログラム名「森に入って 森の営みを探そう」

以下の質問について、○印または記述でお答え下さい。

Q1：以下の言葉から思いつく別の言葉を何個か書いてください。

例：きのこ→

メモメモしてる、菌木、食べると美味しい

どくきつこ！ おいしい！ カワイイ

森林→

死と生、再生、動物たくさん

林業→

入木、木材、カイ仕事
ヒノキ

Q2：森林での伐採している所を見たことがありますか？（1つに○）

☒ ①見たことがある

☐ ②見たことがない

Q3：質問2で「①見たことがある」に○をつけた人へ。どんな時に見ましたか？（一番あてはまるもの1つに○）

☐ ①家族の仕事について行った時に

☐ ②学校の行事（見学など）で出かけた時に

☐ ③学校以外の行事で出かけた時に

☒ ④たまたま森林に遊びに行った時に

☐ ⑤その他（具体的に書いてください→）

Q4：森林・林業の話を、どこかで聞いたり教わったりしましたか？（あてはまるものすべてに○）

☒ ①家族や身近な人から聞いた

☐ ②学校の社会の授業で先生から聞いた

③学校の行事で林業の仕事をしている人から聞いた

④いままでに森林・林業の話は聞いたことがない

⑤その他（具体的に書いてください）→

Q5：森林から伐採された木は、どのようなものに利用されていると思いますか？思いつくものを、いくつでも書かいてください。

木、家、とりい、芸術作品、オリンピックの会場

Q5：森林には、色々な役割がありますが、以下の森林の役割を、それぞれどれくらい重要だと思いますか？（一番あてはまるところ1つに○）

	大変重要	やや重要	どちらでもよい	あまり重要ではない	全く重要ではない
①動物が安心して暮らせる場所としての役割	○				
②二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防ぐ役割	○				
③人が利用する木材を生産する役割		○			
④水質を浄化し、人や動物の生活を支える役割		○			
⑤水を蓄えたり、洪水を防いだりする役割	○				
⑥土壌が流失するのを防ぎ土を守る役割	○				

朝日自然塾アンケート

プログラム名「森に入って 森の営みを探そう」

以下の質問について、○印または記述でお答え下さい。

Q1：以下の言葉から思いつく別の言葉を何個か書いてください。

例：きのこ

エノキタナシ、キノ、食べると美味しい

森林→

新しい木 神秘的な木 木のけやき
木 原住民

林業→

チェーンソー 丸太 苗木

Q2：森林での伐採している所を見たことがありますか？（1つに○）

①見たことがある

②見たことがない

Q3：質問2で「①見たことがある」に○をつけた人へ。どんな時に見ましたか？（一番あてはまるもの1つに○）

①家族の仕事について行った時に

②学校の行事（見学など）で出かけた時に

③学校以外の行事で出かけた時に

④たまたま森林に遊びに行った時に

⑤その他（具体的に書いてください）

Q4：森林・林業の話を、どこかで聞いたり教わったりしましたか？（あてはまるものすべてに○）

①家族や親せきの人から聞いた

②学校の社会の授業で先生から聞いた

③学校の行事で林業の仕事をしている人から聞いた

④いままでに森林・林業の話は聞いたことがない

⑤その他（具体的に書いてください）→

Q 5：森林から伐採された木は、どのようなものに利用されていると思いますか？思いつくものを、いくつでも書かいてください。

家、家具、橋、公共施設
まき

Q 5：森林には、色々な役割がありますが、以下の森林の役割を、それぞれどれくらい重要だと思いますか？（一番あてはまるところ1つに○）

	大変重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	全く重要ではない
①動物が安心して暮らせる場所としての役割	○				
②二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防ぐ役割	○				
③人が利用できる木材を生産する役割		○			
④自然が人々にやすらぎをもたせる役割			○		
⑤水を蓄えたり、洪水を防いだりする役割	○				
⑥土砂が流れるのを防ぎ土を守る役割	○				

「冬の大井沢で自然体験」 ～かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり～

令和4年度朝日自然塾(※)を、3月4日(土)に西村山郡西川町大井沢にて、朝日自然塾連絡協議会の西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館の協力を得て開催しました。

当日は、風もなく穏やかな天気のもと、親子4組9人の参加をいただきました。



トレッキング中に冬芽の説明



途中の斜面でそり遊び

かつての雪国の生活に欠かすことのできなかったかんじきを履いて雪に埋もれた里山をみんなでトレッキング。

途中、講師の説明を聞きながら、春を待つてふくらんだ木々の冬芽を観察したり、ノウサギやテン等の足跡を見つけながら歩きました。

途中の少し開けた斜面では、スタッフが用意した肥料用のビニール袋を使ったそり遊びで歓声をあげました。

午後からは、西川町匠の伝承館・大井沢自然博物館において、「めのうでアクセサリーづくり体験」と「大井沢自然博物館見学」を楽しみました。

「めのうでアクセサリーづくり体験」は職人さんが一人一人に丁寧に作業方法を教えてくれ、それぞれ思い思いの自分だけのアクセサリーをつくりました。



めのうでアクセサリーづくり



簗(みの)等の説明を聞き入る

屋外のかんじきトレッキング、屋内のアクセサリーづくりと博物館見学をして、1日を遊び尽くし、学び尽くして、少しお疲れの中、閉会式と記念撮影をしてお開きとなりました。

参加いただいた皆さん、講師の皆さん、たいへんお疲れさまでした。ありがとうございました。

「大井沢自然博物館」の展示コーナーの説明を聴いたり、自然と匠のの伝承館において「月山和紙」の紙すきの様子を見学したり、「山ぶどう蔓」を使ったかごやコースター作りを見学しました。博物館では、特に熊の剥製には、おっかなびつくりの子、反応はさまざまでしたが、みんな興味津々の様子でした。

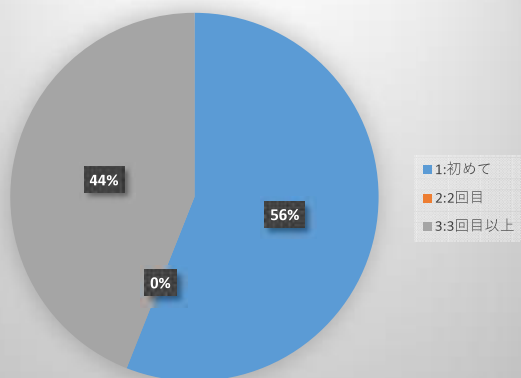


記念撮影

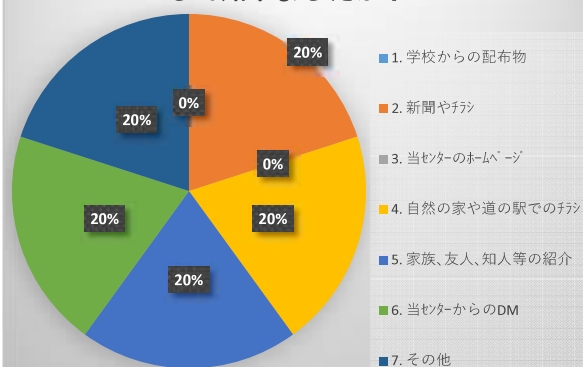
(※)朝日自然塾:東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

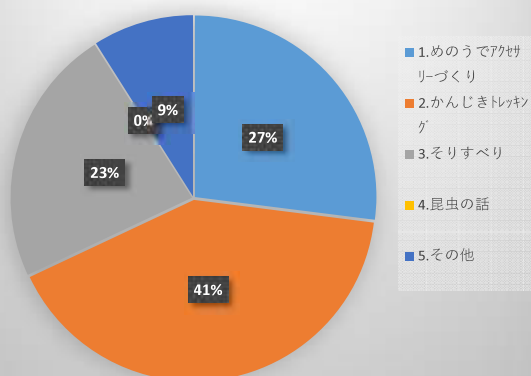
Q1.何回目の参加ですか？



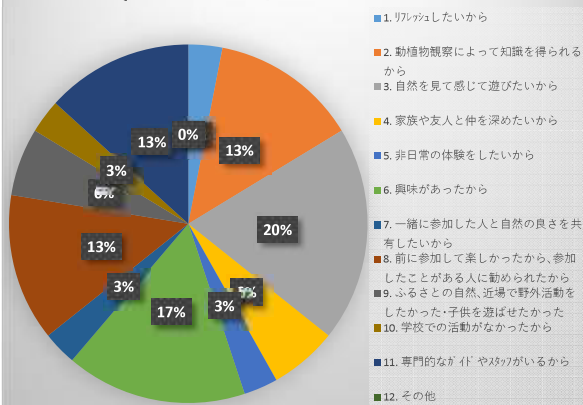
Q2.今回の自然塾をどのようにして知りましたか？



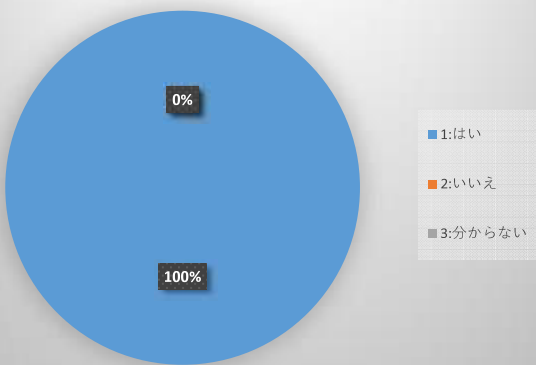
Q3.何を楽しみに来ましたか？



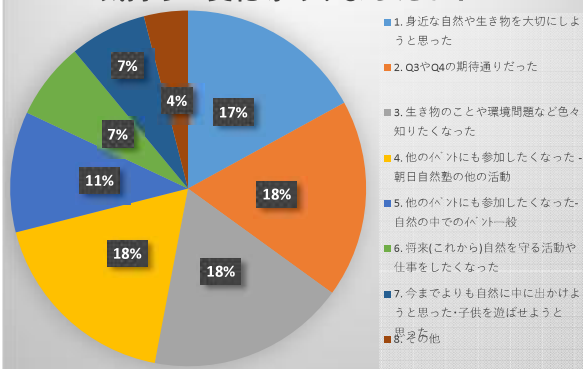
Q4.どうして来たりました？



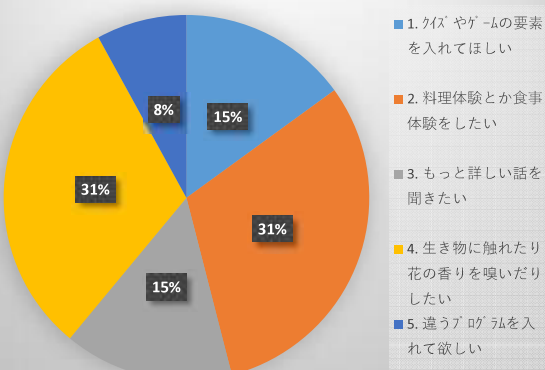
Q5.また、イベントに参加したいですか？



Q6.参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？



Q7.イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください？



アンケートの分析等と考察【冬の大井沢で自然体験！】

1. 参加者について

- ・4年度の参加者は、1位が約6割で初めてで、残りの4割が、3回目の参加者です。
- ・参加者の大人及び子供の比率は、大人55%、子供45%でした。
- ・めのおでアクセサリーづくり&かんじきトレッキングについては、続けての参加者が多い傾向にあります。

2. 募集方法について

- ・4年度参加者の約2割が、自然の家や道の駅のチラシ、家族等の紹介、当センターからのDM、その他で参加したと回答している。
- ・いろんな場所の配布物を見ての参加者が約10割と多い傾向にあります。
- ・3回目以上の参加者が多く、卒業等で人が入れ替わると応募が減る可能性があることから、引き続きこまめな情報発信に努める。

3. 参加人員について

- ・令和5年度も、コロナ禍の状況に左右される可能性が高いため、参加人員等の規模は令和4年度と同様の規模で行う。

4. アンケート結果

- ・Q3「何を楽しみにして来ましたか？（複数回答）」では、1位(41%)かんじきトレッキング・2位(27%)めのおでアクセサリー作り・3位(23%)そりすべり
- ・Q4「どうして来たくまりましたか？（複数回答）」では、1位(17%)自然を見て感じて遊びたいから、興味があったから・3位(15%)動植物観察によって知識を得られるから、ふるさとの自然、近場で野外活動をしたかった・子供を遊ばせたかった
- ・Q5「また、イベントに参加したいですか？」では、1位(100%)はい、2位(0%)いいえ、分からない
- ・Q6「参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？（複数回答）」では、1位(26%)生き物のことや環境問題など色々知りくなった・2位(17%)身近な自然や生き物を大切にしようと思った・3位(15%)他のイベントにも参加したくなった朝日自然塾の他の活動、Q3やQ4の期待通りだった
- ・Q7「イベントへの要望として当てはまるものがあれば教えてください（複数回答）」では、1位(41%)クイズやゲームの要素を入れてほしい・2位(24%)生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい、料理体験とか食事体験をしたい

5. 次年度に向けて

- ・学校からの配布物は、複数回行うなどのこまめな情報発信に努める。
- ・子供の回答に、その他（メープルサップ、缶バッジの作成）が3位と多く高い関心が窺える。
- ・子供の関心を高めるために、クイズ形式や生物とのふれあえる時間も検討する必要がある。

各工程	☒	確認すべき事項
事前打合せ	☐	活動場所の選定は適切か（法規制、狩猟区域外か（狩猟時期に限る）、アクセス、危険な動植物等を確認）。
	☐	（衛星）携帯電話の通話範囲は確認済みか。
	☐	参加者の年齢や能力を考慮した活動内容か。
	☐	国有財産に損害を与えるような活動内容となっていないか。
	☐	活動内容及び参加者数に応じたスタッフ（指導者含む）が確保される見込みか。
	☐	複数グループに分かれて活動する場合、トランシーバー等の連絡手段を検討したか。
	☐	活動に必要な道具は揃っているか。必要に応じ、貸出しを検討したか。
	☐	事故防止に必要な措置及び事故発生時の緊急連絡体制等について打合せしたか。
	☐	雨天・荒天時の対応方法を検討したか（中止を判断するタイミング、最終判断者の決定、連絡体制の確認）。
	☐	参加者への安全講話の実施方法（活動日以前か当日か）や内容について、打合せしたか。
	☐	参加者のアレルギーや体質（かぶれ等を含む）、ハンディ、その他特別な配慮の有無を確認したか。
	☐	活動時の服装は、長袖・長ズボン、帽子/ヘルメット、軍手、長靴等の着用が徹底されるよう、要請したか。
	☐	学校等の活動実施主体の指揮・監督の下に行う活動の場合、活動実施主体が参加者の安全に係る措置を講じるよう要請したか。
	☐	保険への加入等の対策が講じられているか。
	☐	保険への加入等の対策が講じられていない場合、補償等の責任の所在について活動実施主体から参加者に説明されているか。
	☐	「国有林野を利用した記念植樹及び体験林業について」（昭和58年7月15日付58林野第52号林野庁長官から各営林(支) 局長あて）に該当する活動の場合、実施要領に基づく適切な対応を行ったか。
	☐	森林・林業に関する理解の増進に資する内容か。
	☐	イベントの規模に応じて、森林インストラクターや補助者等を配置したか。
	☐	活動前の安全講話を計画したか（注意喚起（天候急変時の避難方法や危険な行動）のほか、危険箇所や起こりうる事故等を洗い出した結果を踏まえて計画）。
プログラムの作成	☐	関係者と連携した緊急連絡体制図を作成したか（病院の電話番号や血清の取扱いに変更ないか）。
	☐	緊急車両と運転手を決定し、緊急連絡体制図等に明示したか。
	☐	救急車への引き継ぎ場所を緊急連絡体制図等に明示したか。
	☐	荒天時や天候急変時の対応方法を記したか（最終判断者及び連絡体制を明記）。
	☐	行程は適切か（休憩、水分補給のタイミング等）。
	☐	スタッフの役割分担は適切か。
	☐	実施場所が複数に分かれる場合、実施場所ごとに責任者（スタッフのリーダー）を配置したか。
	☐	活動に必要な保護具の着用を義務づけたか。
	☐	作成したプログラムを関係者間で共有し、問題の洗い出し及びフィードバックを行ったか。
	☐	

各工程	☒	確認すべき事項
現地確認	☐	安全対策を講じたか（杭、柵、ロープ等保全施設の点検や危険箇所の表示、誘因捕殺器の設置等）。
	☐	活動範囲を設定したか（区域の明示など）。
	☐	活動箇所及びその経路上において、障害物（はね易いササ、小枝等）、落石、崩落、転落、雪崩等の恐れはないか。
	☐	蜂、毛虫、マムシ、毒草等（かぶれる植物、有毒植物、トゲ植物等）の確認及び注意喚起のための表示を行ったか。
	☐	活動日直近に現地を確認したか（特に、蜂の活動期や梅雨、台風一過時には要確認）。
	☐	現地にて、関係者と活動中に起こりうる事故等（動植物、気象、地形等、怪我）の洗い出しと対応の想定を行ったか。
	☐	スタッフ間で打合せのうえ、当日の流れや留意事項等の情報共有を図ったか。
	☐	道具の正しい使い方や危険な動植物等について、作業前までに参加者へ指導・周知したか。
	☐	笛、熊鈴、蜂スプレー等、活動に必要な道具が揃っているか。
	☐	救急バッグの中身を確認したか（熱中症対策グッズ、ポイズンリムーバー等）。
活動日前日まで	☐	活動日直前の気象状況により、川の増水、土砂崩れ、雪崩等が懸念される場合は、現地確認を実施したか。
	☐	全ての携帯電話保持者が、緊急連絡体制図を携行しているか。
	☐	緊急時の（衛星）携帯電話保持者をスタッフに周知したか。
	☐	緊急車両の配置は適切か（走行の障害となる車両はないか）。
	☐	担当するエリア内で想定される危険因子について、作業開始までに、スタッフ間で情報共有したか。
	☐	活動時の参加者の服装は適切か。
	☐	参加者の保護具の着用は適切か。
	☐	救急バックを携行しているか。
	☐	参加者の疲労状況、健康状況に問題はないか。体調不良者はいないか。
	☐	参加者に、こまめな水分補給を呼び掛けているか。
活動日当日	☐	道具の正しい使い方や危険な動植物等について、参加者への指導、声掛けは十分か。
	☐	活動中に確認された不安全行動や危険因子を、他の参加者に注意喚起しているか。
	☐	ふれあい推進事業（一般公募）として実施する場合、イベント実施計画書及びイベント実施報告書を適時作成のうえ、報告しているか。
	☐	
	☐	
	☐	
	☐	
	☐	
	☐	
	☐	
その他	☐	
	☐	

注) 1 各工程ごとに、確認すべき事項に問題がない場合は、☒を記入すること。

2 該当外の事項には、☐を記入すること。

3 追加して確認すべき事項がある場合は、所要の変更を加えることができる。

4 学校等の活動実施主体の指揮・監督の下に行う活動への参加者の安全は、活動実施主体がこの確保に当たることとし、局署等は、取組に漏れがないよう要請すること。

